四国支部

黒潮海運株式会社

【会社概要】

所　在　地　：〒780-8010　高知市桟橋通５丁目５番４号
設立年月日　：平成４年４月
資　本　金　：３,０００万円
代　表　者　：野村 久雄
従 業 員 数：海上　８名，　陸上　３名
運航船舶隻数：１隻
事 業 内 容：海運業、船舶代理店業、
　　船員派遣事業

【会社沿革】

平成４年４月　高知市において内航船舶貸渡業、高知県石灰石輸送を設立
　　「にっこう」にて石灰石輸送に従事
平成９年３月　「にっこう」海外売船
　　プッシャーバージ船「新土佐丸/黒潮」竣工
平成９年４月　社名を黒潮海運株式会社に変更

【事業概要】

年間の大半を高知港内における燃料炭のトランシップに従事しています。

【安全に関する取り組み】

１．乗組員の安全意識を高めるため毎月、安全衛生連絡会を開催、荷主、オペレーターからの伝達事項を確実に行い、業者間の連絡会にも積極的に参加して情報共有を行っております。
２．港内輸送の際は、協力会社と荷役会議を行い、安全確認、作業手順、岸壁状況、気象海象の確認を行い、安全第一の輸送を心がけております。
３．操業中のベルトコンベア区画への立ち入りを禁止しています。

九州支部

マリックスライン株式会社

【会社概要】

【本社】〒892 - 0836　鹿児島市錦江町１番７号

ＴＥＬ 099 - 226 - 2121　ＦＡＸ 099 - 226 - 2126

ホームページ http：//www.marixline.com

【設立年月日】昭和 34 年(1959 年)12 月 21 日

【資本金】3 億円

【代表者】代表取締役社長　岩男直哉

【主な事業内容】　一般旅客定期航路事業(鹿児島～奄美各島～沖縄定期航路)

国内旅行業・貨物運送取扱業・航空代理業

特別管理産業廃棄物収集運搬業

【従業員】90 名(陸上 25 名　海上 65 名(2016 年 12 月 31 日現在))

【事業所】東京営業所　沖縄営業所

【会社沿革】

1959 年 12 月　設立

1960 年　6 月　鹿児島～奄美諸島間の運航を開始

1972 年 12 月　鹿児島～奄美諸島～沖縄間の運航を開始

1990 年　4 月　マリックスライン株式会社に商号変更

【運航船舶】

クイーンコーラル８(4,945 ㌧)

クイーンコーラルプラス(5,910 ㌧)

【安全管理方針】

マリックスライン株式会社は（以下、会社という）、船舶の安全運航及び環境保護の確保に関し、会社が運航する船舶の管理業務が信頼性のある品質を保有していることを保証するために、有効且つ適切な安全管理システムを設定し、これを維持すると共に、常にその向上を図るものとする。

【管理船舶の種類：旅客船】

本方針を達成するため、会社は、国際安全管理コードの要件に準拠した安全管理システ

ムを確立した。また、制定された安全管理マニュアルは、安全統括管理者、安全管理委員会及び関連担当者並びに本方針に記載の船舶に適用する。

2007 年 11 月 18 日　【任意 ISM コード(国際安全管理規程)取得】
2008 年 3 月 11 日　国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局の初期検査に合格
適合認定書(DOC)を取得
2008 年 8 月 6 日　管理船舶「クイーンコーラル８」初期審査合格
船舶安全管理認定書(SMC)を取得
2009 年 10 月 19 日　管理船舶「クイーンコーラルプラス」初期審査合格
船舶安全管理認定書(SMC)を取得

任意 ISM コードは、海上における人命の安全、海洋環境汚染防止及び船舶の運航に関わる責任の所在を明確にするために IMO（国際海事機関）の総会において採択された規程です。

任意 ISM コード取得は、内航フェリーにおいて強制のものではありませんが、当社は安全管理規程の安全方針に基づき船舶の安全運航、海洋環境保護の確保を最重要課題と位置づけ、任意 ISM コードの適合認定書を取得いたしました。

当社は、運航船舶（クイーンコーラル８，クイーンコーラルプラス）の管理業務において「安全と環境保護の方針」を効果的に適用できるように構築した安全管理システムを確立し、制定された安全管理マニュアルに従って実施、維持すると共に、常にその向上を図っています。

【安全方針】

尊い人命と大切な貨物を安全確実に輸送する使命に徹しよう。

【安全重点施策】

・２０１７年度

（1）　運航可否の判断による適切な処理により、「離接岸の事故」をゼロにする。

（2）　安全のＡＢＣを徹底しよう。

Ａ　：　あたりまえのことを
Ｂ　：　ぼんやりしないで
Ｃ　：　ちゃんとやりましょう。

（3）　ヒヤリハット情報の収集と啓発に努める。

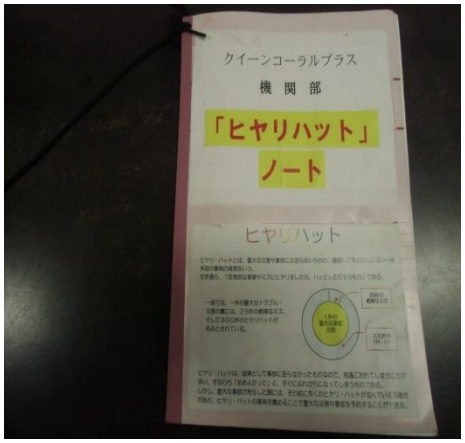
【船内労働安全衛生対策への取組】

・　毎月１回、陸上は、安全統括管理者委員長として「安全管理委員会」、船舶は、船長を委員長として「船内安全委員会」を開催しています。

【ヒヤリハット情報報告】

・　クイーンコーラルプラス、クイーンコーラル８の甲板部、機関部、事務部の各部署へ、

「ヒヤリハットノート」を配布し、情報収集に努め、「安全管理委員会」にて検証、対策等を講じています。



A"LINE マルエーフェリー株式会社

【会社概要】

代　表　者　：　代表取締役社長　有村　和晃
事 業 本 部　：　〒892-0822　　鹿児島県鹿児島市泉町 16 番 4 号
TEL（099）224-2111　FAX（099）226-4146
U　R　L　　：　http://www.aline-ferry.com/
資　本　金　：　4 億 5,500 万円
事　業　所　：　東京支店　大阪支店　南九州支店　名瀬事業部　沖縄支店　神戸営業所
福岡営業所
従 業 員 数　：　206 名（陸上 96 名　海上 110 名）
事 業 内 容　：　一般旅客定期航路事業　内航運送業　港湾運送事業　陸上運送事業
その他

【会社の沿革】

昭和 28 年 12 月　大島運輸株式会社設立。鹿児島・奄美各島間に旅客定期航路事業を開始
昭和 32 年　8 月　鹿児島～沖縄航路を開設
昭和 38 年　5 月　東京～沖縄航路を開設
昭和 47 年　4 月　神戸～奄美各島航路を開設
平成 17 年　6 月　マルエーフェリー株式会社に社名変更

【安全方針】

1. 法令を順守し安全運航を確保します
2. 災害・疾病の予防に努めます
3. 海洋環境の保護に努めます

【運航船舶】

東京－志布志－那覇
RORO 船　琉球エキスプレス 2／琉球エキスプレス 3

神戸－奄美各島－那覇
旅客船　琉球エキスプレス

鹿児島－奄美各島－那覇

旅客船　フェリー波之上／フェリーあけぼの

【船内労働安全衛生対策への取組み】

船内安全衛生委員会

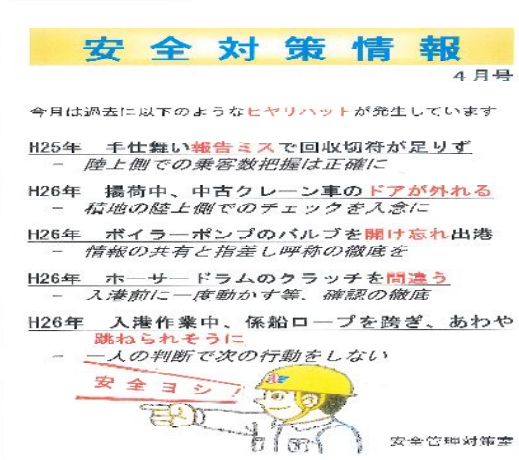
船長を委員長とし、毎月１回開催。船内安全衛生の向上並びに災害疾病の防止について討議し、船舶本部長に報告。委員長より意見があった場合は、その意見を尊重し、社内で対策を講じています。

作業前ミーティング

船内作業前ミーティング始発港においてパート毎に実施。当航海の情報共有並びに作業時の注意事項を示し、船内作業事故を未然に防いでいます。ミーティングの終わりには、安全方針・安全重点施策を全員で唱和し、安全への再確認を行っています。

ヒヤリハット報告の励行

各船より提出されたヒヤリハット報告書を検証し、PC を用いて常時、データを閲覧できるシステムで全社的に展開。また、過去の事例を月末に「安全対策情報」として周知し、再発防止に努めています。



KYT トレーニング・船内向け自主改善活動（WIB）

船内教育の一環として、船員災害防止協会発刊の KYT イラスト集を用いて KYT トレーニングに取り組んでいます。昨年、講習を受けた船内向け自主改善活動（WIB）にも取り組んでいます。

安全大会の実施

昨年 11 月に「フェリーあけぼの」の車輌甲板を会場にマルエーグループ各社の社員が集い、『グループ社員一丸となって質の高い安全グループを目指す事』を誓いました。

また、事故及び災害防止に貢献した６名の陸上及び海上社員を社長賞として表彰しました。今後も社員のモチベーションを高める取組みとして継続致します。

安全管理対策会議

毎月１回、社長・役員・陸上各部署・グループ各社・乗組員の代表者が出席し、安全に関する案件を協議、直近の情報を報告し安全管理体制の構築に取り組んでいます。

安全運送連絡会議

毎月１回、鹿児島港区の荷役作業関連会社・船長、一航士が出席し、荷役作業に関する情報を共有し、共通意識の下で安全に作業できるように取り組んでいます。

西海沿岸商船株式会社

【会社概要】

【本社所在地】　〒８５７－０８７７
長崎県佐世保市万津町７－３
TEL ０９５６－２４－１００４　FAX ０９５６－２４－１００５
E-mail：saikaiengan-sz@almond.ocn.ne.jp

【代表者名】　代表取締役社長　木原　廣道

【設　　立】　１９６３年（昭和３８年）２月

【資 本 金】　１０，０００千円

【従業員数】　２６名　陸上８名　海上１８名

【事業内容】　一般旅客定期航路事業、旅客不定期航路事業　他

【運航船舶】　旅客船兼自動車渡船

「フェリーおおしま」	２３５トン	旅客定員	１４８人
「フェリーかしま」	１９３トン	旅客定員	１２０人

旅客船

「れぴーど」	９４トン	旅客定員	２０２人
「れぴーどエクセル」	１３４トン	旅客定員	２４５人
「れぴーど２」	１９トン	旅客定員	９２人

【会社沿革】　１９４６年　前身である木原廻漕店創業
１９５０年　木原海運有限会社社名変更
１９６３年（昭和３８年）西海沿岸商船株式会社設立
佐世保～西彼杵半島～大島～松島～池島～神浦～長崎航路の運航開始
１９８７年　佐世保～神浦航路に変更
１９９０年　れぴーど就航
１９９５年　れぴーどエクセル就航
１９９９年　れぴーど２就航
２００４年　フェリーかしま就航

【事業概要】　当社は、離島住民の生活航路として佐世保を起点とした、大島、松島、池島及び西彼杵半島の面高、瀬戸、神浦港を結ぶ一般定期航路事業を運航しています。特に本航路は、離島のみならず陸上交通の所要時間を大幅に短縮する海上航路の特性を生かし架橋済の大島、西彼杵半島各港間の重要な航路としての役割を担っています。

同様に、グループ会社である崎戸商船（株）では、佐世保～崎戸～江島～平島～上五島間唯一の航路として、島民の生活航路の運航を担っています。

又、旅客不定期航路事業として運航しています佐世保港内遊覧は、横須賀、舞鶴、呉とともに旧軍港としての歴史的遺産としての評価が高く、近年人気の

遊覧航路となっています。
　常に全社一丸となり　安全運航が最高のサービス、おもてなしの理念の下日々の運航を行っています。

【安全方針】

当社は、経営トップ並びに全社員が一丸となって安全最優先意識の徹底を図り、お客様に安心してご利用頂ける海上輸送サービスを提供致します。

・人命最優先の徹底を図る

・関係法令及び社内規程の遵守

・安全運航への継続的改善

【船内労働安全衛生対策への試み】

・安全統括管理者、運航管理者による訪船による指導の徹底
・出航前、入港後ミーティングの励行
・朝始業時前に、アルコールチェックを実施
・ヒヤリハット情報の収集を行い、安全統括管理者より対策を付記して、各船舶へ展開、改善を実施している。
・外部機関にて実施する安全衛生講習会に乗組員が参加

フェリーかしま

れぴーどエクセル

れぴーど２